

科目名	柔道整復応用実技Ⅱ					
分野	専門分野	担当教員	早川 雅成			
開講時期	3学年 1・2学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	60			2		
科目の概要	1. 国家試験対策:上肢骨折(鎖骨骨折から指骨骨折) 2. 認定実技審査対策(軟部組織損傷の部) ※上記「1.」は1学期(講義1～15),「2.」は2学期(講義16～30)を意としますが、認定実技審査日程を鑑み1学期13コマ目くらいより2学期(認定実技審査)の授業を前倒して行う場合があります。					
学習の到達目標	1. 過去の国家試験レベルは勿論のこと、オリジナル問題(X-Ray等画像所見含む)を迅速に正答へ導くことができる。選択肢等, 文・用語や画像所見につき解説できる。※ 要所で問題・解答解説を行う。 2. 認定実技審査の所作(患者対応, 固有検査等)・知識を完全にマスターする。					
成績評価の方法と基準	本学の規定に準ずるが、授業態度(服装・頭髪含む)・授業に対する姿勢も考慮する。					
使用テキスト	配付資料, 柔道整復学理論編, 小生作成のスライド(パワーポイント:整復・固定動画含む)					
参考文献	Rockwood and Wilkins Fractures in Adults 7th,Vol.1と2, 骨折保存療法における基礎知識					
講義計画	講義内容					
1	オリエンテーション(当該分野の意義, 学習の位置づけ等), 鎖骨骨折					
2	肩甲骨骨折, 上腕骨骨頭・頸部骨折					
3	上腕骨外科頸骨折, 大結節・小結節骨折					
4	上腕骨骨幹部骨折, 上腕骨顆上骨折					
5	上腕骨外顆骨折, 上腕骨内側上顆骨折					
6	橈骨頭・頸部骨折, 肘頭骨折					
7	橈骨単独骨幹部骨折, ガレアジ骨折					
8	第6回～第7回の総復習及び確認テスト					
9	橈骨遠位端部骨折(コーレス骨折, スミス骨折)					
10	橈骨遠位骨端線離開, 橈骨遠位端部骨折(バートン骨折, ショウファー骨折)					
11	手根骨骨折					
12	中手骨骨折, ベネット骨折					
13	指骨骨折(マレットフィンガー含む)					
14	臨床問題対策(画像所見等の留意点を問題を通じ認識する)					
15	総合評価(まとめ)					

16	オリエンテーション(当該分野の意義, 学習の位置づけ), 認定実技審査の注意・連絡事項等, 肩腱板損傷
17	上腕二頭筋長頭腱損傷
18	大腿部打撲
19	ハムストリングス肉離れ
20	腓腹筋肉離れ
21	上記4項目の実技確認及び補足指導
22	足関節外側靱帯損傷
23	膝関節十字靱帯損傷
24	膝関節半月板損傷
25	膝関節側副靱帯損傷
26	認定実技審査口述対策
27	認定実技審査実技・口述等最終確認(実践形式テスト)・仕上げ
28	認定実技審査実技・口述等最終確認(実践形式テスト)・仕上げ
29	下肢軟部組織損傷のおさらい
30	総合評価(まとめ)